



道徳ドキュメント キミならどうする？ ちがうことを ふつうに

放送日：2011年5月27日 放送時間：15分

対象校種 小学校 中学校 高校

対象教科 道徳 総合

この番組の良さ

● 自分を知り、よりよく生きる

現在、自分の顔にあざや傷をもつ人は全国に80万人以上いると考えられており、自分の顔にコンプレックスを感じている人も少なくありません。本番組は、自分の顔に大きなあざや傷があるために、いじめを受け、偏見をもたれ、生きることをやめたいと追い詰められた中谷さんの思いが語られている実話です。特に、長い間、いじめや偏見に苦しんできた悲しみを語る場面や中谷さんの母親の苦しみを聞く場面では、どうしようもできない辛さを感じて胸が痛くなります。中谷さんが自分のコンプレックスと向き合い、気持ちを表現できるようになり、夢をもって生きようする姿には、よりよく生きるための気付きやヒントがあります。

● 見た目の違いによる差別をなくす活動

中谷さんが影響を受けた人物である石井さんは、見た目のことで悩む人たちの相談を聴き、差別をなくすための活動をしています。その活動の様子を視聴することにより、人との関わり方についてより深く考えることができるようになります。

番組活用のポイント

● いじめや偏見を考える

全国の学校では「いじめ」は大きな問題となっています。文部科学省の調査によると、いじめを認知した件数は増加しており、いじめの積極的な発見と対策が学校現場に求められています。いじめ調査の実態で最も多いのは「冷やかしか悪口」などの言葉の暴力です。

番組の主人公の中谷さんは、幼稚園に入った頃から「変な顔、気持ち悪い、近寄るな。」と言われ、ずっといじめを受けてきました。学校を卒業しても、いじめや偏見に苦しみ、生きることをやめたいと思うまで追い詰められました。中谷さんの心痛を感じるにより、「いじめや偏見」について、より深く考えることができます。見た目の違いがきっかけになって「いじめ」が起きた事実から、もし自分が中谷さんと同じ学級にいたらどうしたのか、どうすべきかについても考えることができます。

● 自分を知り、他人の良さを知る

外見にコンプレックスを感じている人は多くいると思われれます。それは、自分の良さをよく理解していないからかもしれません。自分の良いところを考えることにより、他人の良さを理解することの大切さにも気付くことができます。

● 「ちがうこと」は当たり前！ 人との関わり方を考える

「人を見ただけで判断してはいけない」と思っている、大人でも人との関わり方に戸惑うこともあります。日頃からいろいろな人の存在を知り、積極的に関わる気持ちを持ち、見た目が違う人、体が不自由な人等、いろいろな人との関わり方を考える学習（シミュレーションやイメージ）が大切であり、その積み重ねが行動する自信に変わります。本番組は、多様な人々が共に生きる社会について考える題材としても活用することができます。



執筆者
江別市立大麻泉小学校
教諭 前多香織

自分がよりよく生きるための ヒントは何だろう

対象校種 小学校 対象教科 道徳

【授業時間 45分】 部分視聴

児童生徒の思考と活動の流れ	教師の支援と評価
<p>自分の目の形が気に入らない</p> <p>足が短い</p> <p>コンプレックスがある中谷さんは、なぜ、前向きに生活できるようになったのだろうか？</p> <p>自分自身</p> <p>周りの人</p> <p>心の変化</p> <p>自信をつけた</p> <p>サポート</p> <p>仲間</p> <p>中谷さんの場合はどうなのだろうか。番組を見たい。</p> <p>番組部分視聴 (8分27秒:6分33秒～最後)</p> <p>前向き</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の顔を隠さないようになった 家の外へ出て、いろいろな人と関わるようになった 自分の病気を知ってもらい、偏見をなくす活動をするようになった 自分の夢(整体師)に向かって努力するようになった <p>自分自身</p> <p>周りの人</p> <ul style="list-style-type: none"> 本を読んで変化 自分と同じ悩みの人と出会って変化 石井さんからのアドバイス 同じ悩みの人と交流 職場の人、お客さんとの交流 <p>中谷全宏さんは、自分と同じ悩みをもつ人に会い、前向きに活動する姿を見て、明るく生活できるように変わった</p> <p>自分のコンプレックスを克服するためにはどうするか考えて全体で発表する(数人)</p> <p>私と同じ悩みの人があった。でも楽しそうだ。私も前向きに生活しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童に自分の見た目で気になるところはあるか聞く。 生まれつきのあざが原因で「生きることをやめたい」と思うくらい辛い生活をしてきた中谷さんが、前向きに生活していることを知らせ、その理由を聞く。 児童の求めに応じて、番組を紹介し、部分視聴する。 番組視聴では、「どんな姿に変化したか(変容)」と「変容のきっかけは何か」の2つの視点から整理する場を設定し、板書する。 中谷さんや中谷さんの周りにいた人たちのすごいところは何かを問いかけ、自分のコンプレックスと向き合い、偏見をなくそうとする活動をしていることに注目できるようにする。 コンプレックス克服方法について考えていることを聞く。 <p>【道徳的意欲と態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の初めに、同じ悩みをもつ人がいたことに気づき、自分も前向きに生活しようと思ったか。(よりよく生きる喜び)

コラム その時 歴史が動いた 神々のうた 大地にふたたび ～アイヌ少女・知里幸恵の闘い～

元来文字を持たない民族であったアイヌの文化伝承の歴史を変えた、一人のアイヌの少女の活躍がわかりやすくまとめられた番組です。本番組は、アイヌ民族や歴史学習の資料として、文化伝承を扱う教材・資料として、活用することができます。また、既にティーチャーズ・ライブラリーに入っている番組『わたしのカムイユカラ』では、知里幸恵の著作を基に、今でもアイヌ文化を受け継いでいる取り組みを紹介しています。この番組も併せてご利用ください。

コラム 『BS1スペシャル 平和の使節を“世界の記憶”に ～朝鮮通信使 登録への道～』

江戸時代、朝鮮王朝から外交使節団・朝鮮通信使が日本を訪れ、各地で日本人と平和・友好のために交流しました。その記録が、日本と韓国に遺っています。本番組は、両国の学者を中心とした民間団体が共同し、この文化記録をユネスコの「世界の記憶」に申請して選定されるまでの経緯を詳しく描きます。双方が歴史認識について白熱した議論をする場面が多くあり、意見の違いと、にもかかわらず互いを尊重し合い、相違を乗り越えて合意に至る経緯を知ることができます。異文化を学んだり、異文化理解を学んだりする際の資料として、この番組の活用をお薦めします。